

行橋市立延永小学校学校通信
(2019年・令和元年度)

延小だより No.4

皐月 May 5月16日 発行

【学校目標】
豊かな心を育み、自ら学び、たくましく生きる子どもの育成

《校訓》 勤勉

◇ めざす子ども ◇

- ☆ 思いやりの心もち、素直で明るい子ども
- ☆ 自ら意欲的に学び、すすんで汗をかく子ども
- ☆ 地域に愛される元気な子ども

あいさつ

挨拶は心を開く「合い（愛）言葉」

昨年度本校に着任して以来、児童集会などで何回かあいさつの大切さや「延永小学校の子どもたちはみんなあいさつがよくできる」と評判の学校にしたいという話をしてきました。いじめや暴力行為など、他の人とのかかわり方がうまくできなくて問題行動に発展することが各地で起きていますが、「人は人と人との間で人間になる」と言われるくらい、人とのかかわりは大切なことです。

そして、いろいろな人とかかわりをもつには、自分から心を開くことが大切で、その始まりがあいさつをすることだと考えます。

多くの子どもたちは、毎朝、心から笑顔で「おはようございます」と気持ちのよいあいさつをしてくれますが、恥ずかしそうに下を向いている子や、少しつらそうに通りすぎる子もいます。そんな子どもたちを見ていると「疲れているのかな」「何か悩みごとがあるのかな」と心配になってしまいます。

学校ではこれからも「あいさつ」に力を入れていきますが、ぜひ、ご家庭や地域でも「あいさつ」に力を入れていただき「おはよう」「いただきます」「行ってきます」「行ってらっしゃい」という家庭でのあいさつ「こんにちは」「ありがとう」といった地域でのあいさつを、しっかりとした言葉で言っていただければ幸いです。言葉に出すことで家族の愛情や地域のつながりは、もっと深まっていくと思います。

学習参観・学級懇談会・PTA総会

ありがとうございました

4月27日（土）の学習参観、学級懇談会、PTA総会では、たくさんの保護者の参加がありました。改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

子どもたちにとっては、新しい教室、新しい先生のもとでの初めての学習参観でした。少し緊張しながらも、みんな真剣に学習に取り組んでいました。また、学級懇談では、新しい学務委員が決まったと思います。今年度の学務委員の皆様、1年間よろしく願いいたします。また、PTA総会では1年間のPTA活動の計画が承認されました。本年度も昨年以上の活発なPTA活動となることを願っています。





かんけいしゅうかい かんけいえんぞく 1年生歓迎集会・歓迎遠足



4月26日（金）に、1年生歓迎集会が行われました。集会では、2年生からプレゼントされたペンダントを胸に下げ、6年生が作った花のアーチをくぐって入場しました。2年生の「歓迎の言葉」に応え、「お返しのあいさつ」を元気にできました。その後、全校で歌をうたったり、集会委員会が中心となって企画してくれたゲームなどをして楽しく過ごしました。

集会後は、「みやこの苑」まで遠足に行く予定でしたが、あいにくの天気で校内遠足となりました（5年生は先に出発したので「みやこの苑」に到着）。そして、校内ではありましたが、みんなで楽しくお弁当を食べたり、遊んだりしました。1年生のお世話をしてくれた6年生や、みやこの苑の事前事後の清掃活動をしてくれた5年生にも感謝です。立派なリーダー・サブリーダーでした。



子どもの送迎についてのお願い

昨年度も何度かお願いしましたが、最近また、子どもの登下校時、車で送迎する家庭が増えてきました。子どもの体力増進のためできるだけ徒歩での登下校をお願いします。やむを得ず送迎が必要な場合は、子どもの安全確保のため子どもの通行に十分配慮してくださいませますようお願いいたします。その際は、プール横の通路及び体育館渡り廊下の通行はご遠慮ください。

なお、朝7時から9時までの間は、長峡川沿いの道路は、歩行者専用となっており、許可車両以外の通行は規制されていることもあわせてお知らせします。

◇ 5月の主な行事 ◇

24日(木)・25日(金) 尿検査2次
27日(日) 春季大運動会
28日(月) 運動会代休
30日(水) 眼科検診



こしづか まな 腰塚さんから学ぶこと

大学卒業後、「天職」と思えた中学校の体育教師になる。学級担任、バスケット部顧問として「熱血指導」の日々を送る。2002年3月1日、人生を大きく変える事故が起こる。

スキーでの転倒で「首の骨」を折り、奇跡的に命は取り止めたものの、首から下がまったく動かなくなる。当時、医師からは「一生、寝たきりか、よくて車イス」の宣告を受け、あまりの絶望に「自殺未遂」をする。その後、妻、両親、主治医、看護師、生徒たち、職場の同僚などの応援と励ましを受け、「自分の命があらゆるものに助けられ、生かされていること」に気づき、「笑顔」と「感謝」と「周りの人々の幸せを願う」ことにより、奇跡的な回復力を発揮する。そして、「下半身と右半身の麻痺」など、身体に障がいを残しながらも、4カ月で現場に復帰し、中学3年生の担任を務める。主治医からは「首の骨を折って、ここまで回復した人は、治療した中では、腰塚さんだけだ」と言われるほどの「奇跡の復活」を遂げる。

その体験を「命の授業」として6分ほどの「ムービー(動画)」にして公開したところ、30万人を超える人々の目にふれることとなる。

(腰塚 勇人さんのブログのプロフィールより抜粋)

実際の映像が見られます。 <http://www.inochi-iyugyo.com/>

人は人によって
生かされている
誰もが一人じや
「助けて」ってき
命があるのは当
当たり前の中に
私はケガからの
それを心から実
「命の授業」の講
「命の大切さ」を
を伝えたい。
一人ひとりに
「今ある幸せ」に
に気づいてほし
いじめや自殺を
そして、一人で
「命の使い方」を
を考え、行動し
私の夢は、「命の
一億二千万人に
この想いを胸に
私は一期一会の
この志事に本気

「命の授業」



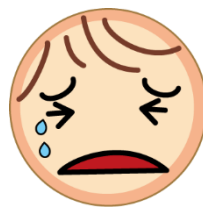
腰塚勇人さんの『私の5つの誓い』は、

口は、 ひと はげ かんしゃ 人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう
耳は、 ことば さいご き 人の言葉を最後まで聴いてあげる ために使おう
目は、 人のよいところを見る ために使おう
手足は、 たす 人を助ける ために使おう
心は、 いた 人の痛みがわかる ために使おう

あなたの『私の5つの誓い』は、

口は	ために使おう
耳は	ために使おう
目は	ために使おう
手足は	ために使おう
心は	ために使おう

～ご家族でも、一緒に考えてみてください～



《 何げない「言葉」が大切になりますね！ 》

『一秒の言葉』 ～ 小泉吉宏著：一秒の言葉 より ～

「はじめまして」この一秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じることもある
「ありがとう」この一秒ほどの言葉に、人のやさしさを知ることがある
「がんばって」この一秒ほどの言葉で、勇気がよみがえってくることもある
「おめでとう」この一秒ほどの言葉で、幸せにあふれることがある
「ごめなさい」この一秒ほどの短い言葉に、人の弱さを見ることがある
「さようなら」この一秒ほどの短い言葉が、一生の別れになるときがある
一秒に喜び、一秒に泣く
一生懸命、一秒